学校番号	413

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	新刊　ベストフィット生物基礎　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2 年次の「生物基礎」の知識を基に、国公立や医療看護系、および、栄養系への進学希望者に向けた、演習中心の授業です。暗記科目と思い込んでいる人も多いと思いますが、受験対策となると思考力、図やグラフの読解力も必要となります。難易度が上がって、難しく感じることもあると思いますが、継続は力なり！問題集を何度も解くことで力をつけていってください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め，科学的な自然観を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
目的意識をもって観察，実験や，実験のデータなどの分析を行い、生物学的に探究する能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象に対する探究心を高め、生物学的に探究する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	2 年次の生物基礎の知識を基に、さらに深く生物現象について，基本的な概念や原理・原則を理解することができている。 また、観察・実験などを行い，基本操作を習得する技能を身につけている。	生物現象の中に問題を見出し，探求する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象に関心を持ち，意欲的に探求しようとするとともに，生物の仕組みを正確に理解しようと努めるなど，科学的な見方や考え方を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生物の特徴	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝	a:多様な生物の共通点がわかる。細胞小器官の名称と働きを理解している。 b: 生物としての共通の特徴をあ	定期考査の結果 ノートやワークシート	定期考査の結果 ノートやワークシート	ノートやワークシートなどの記述 探究活動の

		呼吸と光合成	げることができ，多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。 c：多様な生物に関心を持ち，形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。	などの記述 探究活動の記録	などの記述 探究活動の記録	記録 学習状況の観察
	遺伝子とそのはたらき	遺伝情報とDNA 遺伝情報の複製と分配 遺伝情報の発現	a：DNA，RNA，遺伝子，ゲノム，遺伝情報の発現について理解している。 b:遺伝子の本体である DNA の塩基配列がどのように生命現象を支えているか考えることができる。 c：遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること，ＤＮＡの特徴について関心をもち考えようとする。	定期考査の結果 ノートやワークシートなどの記述 探究活動の記録	定期考査の結果 ノートやワークシートなどの記述 探究活動の記録	ノートやワークシートなどの記述 探究活動の記録 学習状況の観察
2	ヒトの体内環境の維持	体内での情報伝達と調節 体内環境の維持のしくみ 免疫のはたらき	a：体液（血液・リンパ液・組織液）の成分や働き，循環系，自律神経，ホルモン，免疫を理解する。 b:体内環境を維持するための体液，自律神経，ホルモン，免疫に関わる細胞について考えることができる。 c：体内環境の恒常性に関心を持ち，体内環境の恒常性に自律神経や多様なホルモンがかかわっていることを調べようとする。	定期考査の結果 ノートやワークシートなどの記述 探究活動の記録	定期考査の結果 ノートやワークシートなどの記述 探究活動の記録	ノートやワークシートなどの記述 探究活動の記録 学習状況の観察
	生物の多様性と生態系	植生と遷移 植生の分布とバイオーム 生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	a:さまざまな植生とその違い，遷移のメカニズム，気候とバイオームの関係，生態系のバランスと保全の重要性について理解している。 b:地球上にはさまざまな植生が見られること。植生が気候と降水量の影響も受けながら長期的に移り変わっていくこと。生態系の成り立ちと，生態系の保全について考えることができる。 c:陸上で見られる様々な植生が長期的に移り変わっていくことや，生態系での物質循環や，エネルギーの流れを調べようとする。	定期考査の結果 ノートやワークシートなどの記述 探究活動の記録	定期考査の結果 ノートやワークシートなどの記述 探究活動の記録	ノートやワークシートなどの記述 探究活動の記録 学習状況の観察

3	全範囲の演習と実験	全範囲の演習(共通テストまたは、医療看護系入試を見据えたレベル) 実験・実習	a:全範囲において、知識を身に着け、その現象を理解することができる。また、実験を正しく、安全に行うことができる。 b:全範囲において、現象が起こるしくみを理解し、理由を述べることができる。また正しく計算して求めることができる。 c:実験に積極的に取り組み、考察事項を自ら考える姿勢がみられる。	ノートやレポートなどの記述 探究活動の記録	ノートやレポートなどの記述 探究活動の記録	ノートやレポートなどの記述 探究活動の記録 学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度